

令和 3 年 6 月 10 日  
宮城県高等学校野球連盟

### 1. 開催中止の判断

- ① 宮城県教育委員会や仙台市教育委員会から、部活動の大会自粛の指示が出た場合は中止とする。
- ② 大会前、大会中に関係者から感染者が発生した場合は、日本高野連が策定した対応表に沿って、次の通りとする。

	感染者が発生した場合の対応	濃厚接触者（家族や職場などで感染者が出た）となった場合の対応
大会役員 審判委員	感染者以外の大会役員、審判委員が感染者とどのような接触歴があったかを確認する。保健所から濃厚接触者の指定を受けた場合は保健所の指示に従う。その間は別の大会役員、審判委員が運営にあたる。	当該者は保健所の指示に従い行動する。その後、保健所の指示に従い検査を実施し陰性が確認され、体調不良や高熱などの症状が出なかった場合は復帰可（経過観察期間など十分に確認する）。
指導者 部員	当該校は保健所から陽性者以外の濃厚接触者の特定や今後の行動に関する指示を行う。当該校は感染者、濃厚接触者以外の行動を参考にチーム内の体調不良者がいないかを確認した上で大会参加を判断する。当該校の意向を踏まえ、運営委員会で決定する。	当該者は保健所の指示に従い行動する。当該校はそれ以外の指導者、部員で試合参加を検討する。当該者は保健所の指示に従い検査を実施し、その後体調不良や高熱などの症状が出なかった場合は試合参加可。

### 2. 来場者の健康管理

- ① 検温と健康観察を継続して行うこと。また 2 週間前からの行動歴（いつ、どこに行き、誰と会ったか）を記録しておく。
- ② 大会参加について、保護者の同意を得てから「証明書」と「選手資格証明書」を作成し、同意の得られない生徒は大会には参加・引率しない。
- ③ 大会 2 週間前より、高熱が発生した選手がいた場合は、練習に参加させず医療機関での受診を勧める等の措置をとる。
- ④ 厚生労働省が開発した新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の登録を推奨する。
- ⑤ 来場者に氏名・連絡先の記入をお願いし、体温検査実施の協力をいただく。検温の結果、37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りする。

### 3. 抽選会

- ① 抽選会は 6 月 25 日（金）に松島文化観光交流館で行う。**出席者は各学校 2 名**までとし、抽選者は顧問または主将とする。抽選会後に運営委員会を開催し、1・2 回戦の日程・球場を割り当て、移動距離が最小限となるよう考慮し、宿泊を伴わないように配慮する。

- ② 春季県大会の結果を踏まえて、第1シードを仙台育英、第2シードを仙台第一、第3シードを東北学院、第4シードを東陵、春季県大会ベスト8（ヴェルネ、古川学園、聖和学園、柴田）を第5シードとする。
- ③ 大会期間中の練習試合・選手変更は大会規定により認めない。選手変更は開会式前日の7月6日（火）正午までに、仙台工業高校必着で郵送すること。試合に敗れた場合の練習試合については、この限りではない。
- ④ コロナ感染予防に加え、熱中症予防の観点から 2試合開催の場合は9時と12時、3試合日は8時半と11時半と14時半とする。前の試合が早く試合終了しても、2試合目の試合開始を早めず45分以上の間隔をとって行う。2・3試合目のベンチ入りはベンチの消毒完了後とする。また、試合前の立ち会いの時間はそれぞれ試合開始予定時刻の1時間前とする。

#### 4. 開会式・閉会式

- ① 感染予防のため選手と保護者の導線を分ける。入場時、選手は一塁側を移動、保護者は三塁側を移動させる。解放するゲートも選手専用と保護者専用に分け、解散時は時間差で移動させる。
- ② 開会式での集合写真は撮影せず、責任教師と主将で受付のみを行う。
- ③ 選手は一塁側スタンドに待機し、順番に入場行進を行う。行進後は、各チームのプラカード保持者と主将を除いて、レフトスタンドに退場し、開会式に参加することができる。控え選手は指定された三塁側スタンドで開会式に参加できる。
- ④ 開会式には各高校部員数×1名の保護者の入場を認める（有料）。高校毎に開会式チケット申請を7月2日（金）までに宮城県高野連に申請し、チケット配付は開会式当日に行う。開会式への入場は開会式チケットのみ認めるが、開会式が順延した場合も考え、開会式チケットは一般観戦の時も有効とする。
- ⑤ 開幕試合の一般観戦は入場者を制限して、11時半より開幕戦のチケットを販売する。
- ⑥ 声を出しての応援ができないことから、開会式への応援団の派遣依頼はしないこととする。
- ⑦ 閉会式も内容を簡略化して、例年通り実施する。

#### 5. 選手の移動・宿泊・試合観戦等

- ① 送迎バスを利用する場合は、除菌や換気を行い、座席間隔を空けて着席するなど感染防止対策を講じる。公共交通機関を利用する場合は、混み合う時間帯をなるべく避けるように注意する。
- ② やむを得ず宿泊を伴う場合は、個室や食事の個別提供が可能な宿泊場所とし、宮城県高野連宛に事前に連絡する。また、不要不急の外出は自粛してもらう。
- ③ 移動中や試合会場で食事をとる場合は、人と人との間隔（できるだけ2m最低1m）を空け、対面になることを避けるように努める。
- ④ 昼食をとるためにスタンド等を利用しても構わないが、試合観戦やビデオ撮影を目的に球場内に入ることは、感染予防の観点から禁止する。

#### 6. 試合

- ① チーム関係者は起床後検温、体調チェックを行い、その結果を責任教師は検温確認表（様式A）に記載した上、メンバー表交換時に大会役員に提出する。起床後あるいは球場入場時に37.5℃以上の発熱や体調不良（倦怠感、呼吸困難など）が発生した場合は、球場への来場、入場するこ

とを禁止し、速やかに医療機関を受診する。その場合、責任教師は速やかに大会本部まで連絡する。

- ② チーム毎にマスク着用を励行し、手指消毒を行う等の感染予防に努める。
- ③ 道具についても試合前後の除菌消毒を徹底する。なお、ヘルメットに関してはSGマークのついた破損していないものであれば、多少の違いを認める。
- ④ 飲料水やタオル等は個人専用とする。クーラーボックスをベンチ内に持ち込むことは許可するが、ジャグをベンチに持ち込むことを禁止する。
- ⑤ ウォーミングアップ時、選手のマスク着用は義務づけない。ただ、球場外でウォーミングアップをする場合、観客近くで行うこともあるため、マスク着用をすることが望ましい。
- ⑥ 試合中、ダッグアウト内の責任教師、監督、選手、記録員、ボールボーイは熱中症対策を十分に講じてマスクを着用すること。グラウンドで試合に出場している選手はマスクの着用は義務付けない（ベースコーチを含む）。
- ⑦ 円陣を組んでのミーティングや試合前後の挨拶を禁止する。タイムをかけて話し合う場面では、グラブで口を覆ったり、対面で話すことがないように工夫する。また、ハイタッチ等の接触を伴う行為は自粛する。
- ⑧ 試合後の校歌斉唱は適度な間隔を保った上で行う。
- ⑨ 試合前後の挨拶は、発声を自粛し一礼のみとする。
- ⑩ シートロック後、5回終了時、試合後のグラウンド整備は当該校で行う。
- ⑪ 試合後は、ベンチ内の除菌作業を責任教師同席のもと当該校で行う。
- ⑫ 審判が4人制でない場合もある。

## 7. 応援・観戦

- ① 仙台市民球場（3,000人）、石巻市民球場（内野700人、外野2300人）、鹿島台中央野球場（内野300人、外野1000人）、平成の森（1000人）の入場制限を設けて、全試合有観客試合とする。入場者からの（1）個人情報（氏名・住所・電話番号）の提供、または（2）新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の登録、を確認し、検温・手指消毒を行った上で、入場料（大人600円、シニア300円）をいただいて入場を許可する。提供された個人情報は感染が確認された場合の追跡調査のみに使用する。ただし、今後の感染状況によっては無観客試合となることもあり得る。
- ② 次に該当する方の球場への入場を禁止する。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 球場入場時、検温の結果37.5℃以上の発熱が認められた方。</li><li>(2) マスク非着用の方。</li><li>(3) 過去1週間以内に ①強い倦怠感②喉、咽頭痛、息苦しさ③味覚・嗅覚以上などの異変を感じた方。</li><li>(4) PCR検査で陽性歴があり、次の①～④に該当する方。<ol style="list-style-type: none"><li>① 有症状者では、発症日から10日未満でかつ症状軽快後72時間以内。</li><li>② 症状軽快後24時間経過から24時間以上の間隔を空け2回のPCR検査で陰性を確認できていない。</li><li>③ 無症状病原体保有者では、陰性確認から10日未満。</li></ol></li></ol> |
|---|

- ④ 検体採取日から6日間経過後、24時間以上の間隔をあけ2回のPCR検査で陰性を確認できていない。
- (5) 濃厚接触者として自宅待機中の方。
- (6) 家族が濃厚接触者として自宅療養中の方。
- (7) 家族に上記(3)の体調不良者がある方。
- (8) 海外から帰国（日本に入国）して14日以内の方。
- ③ 入場者は、スタンドで両手が届かない間隔を空けて試合を観戦する。声を出しての応援は自粛し、拍手やメガホンをたたく行為のみとする。ハイタッチや座席の上に立ったり、一カ所に集まる行為、全員がタオルを回す行為がないように事前告知を行う。
- ④ チームとして太鼓1個の持ち込みを許容する。応援リーダー、チアリーダーについても入場は可とするが、ソーシャルディスタンスをとることや大声を発しないなど、上記③に準じた応援の体制をとる。
- ⑤ ブラスバンドによる応援は日本高野連が定める「ブラスバンド入場に関するガイドライン」を遵守することを条件に四回戦以降認める。または録音された音源を、自主電源を用いて指定された場所（外野の芝生席）から流すことを四回戦以降認める。ただし録音された音源は音楽のみ（歌詞を除いたメロディーのみ）とする。
- ⑥ 学校観戦は学校長の責任の下で認めるが、上限を300人とする。学校生徒は指定された場所においてのみ観戦ができるものとする。学校観戦を希望する場合は、引率責任者を指定し、最低でも2日前までに責任教師を通じて大会本部に連絡を入れることとする。引率責任者は当日の学校応援者名簿（様式C）を入場前に大会本部に提出する。

## 8. 報道への対応

- ① 報道各社には、1社1球場あたりの取材者人数を限定し、報道受付で入場申請書を記入した後は、原則スタンドで取材を行う。大会本部には報道席を設けない。
- ② 試合前の選手や監督への取材は禁止する。また、試合後の取材については、各チーム1名以内の指名選手を大会本部で取りまとめ、各校の責任教師の了解を得た後5分以内で行う。指名選手以外の取材は禁止する。
- ③ 大会前の参加校への取材については原則禁止する。取材の必要がある場合は、責任教師を通じて各学校長の許可を得たのち実施する。

## 9. 大会運営

- ① 全ての試合においてボールとロジンは大会本部で準備するが、コロナ感染が再拡大し、無観客試合となった場合はこの限りではない。
- ② 運営委員も事前に検温を済ませ、手指消毒を徹底する。大会本部は密集を避ける工夫を施し、パソコンやアナウンスマイク等は使用者が代わる度に消毒する。
- ③ 運営委員は感染予防のため、マスクや手袋を着用して大会運営に従事する。
- ④ 場内アナウンスやSBOに関しては、両校のマネージャーの協力が得られない場合は運営委員が行う。運営委員不足により場内アナウンスがない場合もある。
- ⑤ 全ての試合において「一球速報」を導入する。運営委員不足の場合は、イニング速報を行う。

- ⑥ 選手の健康管理のため、球数制限の運用を行う。試合前に投球実績表を責任教師に配付し、球数を確認し、1週間内に500球を越えないように選手の健康管理に努める。関節機能検査については、医療関係者と調整を行い、可能な限り実施する。
- ⑦ 大会中、本部に看護師を常駐させるよう努める。来場者の中に発熱や体調不良など感染が疑われる人が出た場合は検温を行い、疑いがあるようであれば保健所の電話相談窓口に連絡して指示を受ける。
- ⑧ 審判員も事前に検温を済ませ、手指消毒を徹底する。審判員への給水は審判団に依頼する。感染予防のため、タオル提供は行わない。
- ⑨ 少年野球の始球式は土日に、特別支援学校の始球式は平日に、依頼があれば実施する。

#### 1 0. 感染者が発生した場合の対応

- ① 大会前、大会中に大会関係者、チーム関係者から感染者や濃厚接触者が発生した場合は、1の「大会前、大会中に関係者から感染者が発生した場の対応について」を参考に対応する。
- ② 宮城大会を終えた後、14日間以内に新型コロナウイルスに感染した場合、あるいは感染が疑われた場合は、速やかに宮城県高等学校野球連盟に書面にて報告する。
- ③ 球場で観戦後、14日以内に一般入場者や学校応援者が感染者となった場合、大会中であれば大会本部、大会後であれば宮城県高野連事務局（仙台工業高校）、朝日新聞社仙台総局まで連絡してもらう。
- ④ ③となった場合、試合会場となる球場とも情報共有し、保健所の指示に従いホームページで感染者発生の情報発信や観戦した観客への連絡等取るべき措置をとる。

#### 1 1. 参加校の大会参加可否の判断基準

- ① 大会中、参加校から感染者ならびに感染の疑われる者（濃厚接触者）が判明した場合、参加校責任教師から情報収集（感染者数、行動歴、保健所の指示内容）に努める。
- ② 当該校は感染者、感染が疑われる者の人数や行動歴、保健所の指示を踏まえ、当該校校長が参加の可否を判断する。
- ③ 大会への参加を辞退する場合は、「大会参加辞退」が学校長判断のもと確定しだい、責任教師が理事長に電話連絡を行う。その後、「大会参加辞退届」を宮城県高等学校野球連盟（仙台工業高校佐藤事務局長宛）に郵送により提出する。
  - ・ 文書作成期日は電話連絡を行った日時とする。
  - ・ 学校長の押印を必要とする。
  - ・ 辞退理由は「大会参加規程によるもの」とする（詳細は必要なし）。
- ④ 主催者は参加校校長の判断を尊重し対応する。しかし、当該校の感染状況（部内での集団感染や集団感染が予見されるなど）によっては出場を差し止めることもある。
- ⑤ なお、参加校から感染者や感染が疑われる者が発生した場合、大会日程は原則として変更しない。ただし、日程を繰り下げることで当該校の大会出場が可能な場合は、臨時の運営委員会を開き日程を検討することもあり得る。その場合、同一回戦の日程で日程変更を検討することを原則とする。

1 2. 宮城大会終了から全国高等学校野球選手権大会（以下「全国大会」）までに代表校から感染者、感染が疑われる者が発生した際の対応

地方大会終了後、全国大会までに代表校から感染者、感染が疑われる者が発生した場合は、可能な限り選手変更などで対応する。万が一、代表校関係者から感染者、感染が疑われる者が発生し、全国大会にチームとして出場できなくなった場合は、代表校の差し替えなどはしない。